



株式会社トモエシステム  
代表取締役社長

**柳瀬 秀人**

*Hiroto Yanase*

**株式会社トモエシステム**

[本社] 〒652-0803  
神戸市兵庫区大開通7丁目1-17

[電話] 078-576-1088

[HP] <http://www.tomoe-group.co.jp>

- 創業：1947年 ●従業員数：75名
- 代表者：代表取締役社長 柳瀬 秀人
- 事業内容：産業機械・建設機械・農業機械・プラント設備・原子力関連・鉄道車輛等各種関連部品の商社

# ワンズスタイル ONE'S STYLE

**SUN-TV** **3/18(月) 放送**  
兵庫・大阪 毎週月曜/22:00~22:55

YouTube

※ONE'S STYLEは、22:25頃からご覧頂けます。

## 建設機械部品の独立系専門商社としてグローバル展開 優れたモノづくりの支援で100年企業を目指す

神戸市に本社を構え、建設機械、農業機械などの産業機械部品の扱う専門商社として事業を展開する株式会社トモエシステム。トモエグループの中核企業として成長を続ける同社の展開について、代表取締役社長の柳瀬 秀人氏が語った。

### 8千品目を超える産業機械部品の扱う 世界中のショベルカーの約70%に関与

建設機械を中心にさまざまな産業機械部品を取り扱う独立系の専門商社として躍進を続けているのが株式会社トモエシステムだ。

「弊社はモータリゼーションの創成期にトラックやタクシーなど商用車の補修部品を中心とした卸問屋としてスタートしました。神戸には当時、建設機械を生産する大手メーカー工場があり、弊社も納入するようになったのです。現在では、自動車部品を株式会社巴商會が扱い、建設機械を中核とした事業をトモエシステムとして展開しています。弊社は国内外のお客様に建設機械部品を納入する専門商社として幅広くお取引をいただいています」(柳瀬氏)

取り扱うアイテムは電気・電子部品、板金部品、樹脂部品など8千品目を超える。同社によると全世界で販売されるショベルカーのうち約70%に関わっているという。

### 歴史を礎に取引先との共創力をより高め 環境の変化にも柔軟に対応できる企業へ

柳瀬氏は大学卒業後、大手食品メーカーや会計系コンサルティングファーム勤務を経て35歳で入社。5年後から創業家の3代目として同社を率いている。

「入社後まず取り組んだことは、建設機械

市場で急速に進んでいたグローバル化への対応、それを支える組織の再構築、新しい環境へ対応するための人材の確保と社員をしっかりとサポートできる体制の構築です」(柳瀬氏)

まだ道半ばだと同氏は語るが、現在ではリーマンショック直後に比べ、売上高は2.5倍に伸び、収益性も上がっているという。描いたビジョンに誤りはないことを裏付けている。

同社は優れた日本の建設機械メーカーに部品を納入したいと考える海外の部品メーカーと、日本の企業をつなぐ役割も担う。

「弊社が長年培ってきた実績と経験を生かし、まず日本の商習慣をしっかりと理解してもらい、そして日本のお客様の厳しい要求に応えられる製品・サービスを共に創るという意識を常に持っています」(柳瀬氏)

100年企業に向けた企業づくりは、これからも続く。

「今後ますます市場の不確実性、不透明性は高まってくると考えています。これまで71年にわたり培ってきた歴史を礎にし、弊社の強みである取引先との共創力をより高め、急激かつ大きな外部環境の変化にも柔軟に対応できる力を強化していきたいと考えています」(柳瀬氏)

同社はステークホルダーとの信頼関係を礎に、「つなぐ」という共創の力で社会の発展に大きく貢献し続ける方針だ。



ONE'S STYLE とは……

ワンズスタイル  
躍進するリーダーの流儀に迫るドキュメンタリーです。